

スイミングゴーグル取扱説明書

VATS-175

このたびはミズノスイミングゴーグルをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ゴーグルを正しくお使いいただくため、**ご使用前には必ずこの説明書をお読みください。その後も大切に保管してください。**

保護者の皆様へ お子様のご使用になる場合、この説明書をよくお読みください。お子様が理解できるように説明してください。

絵表示について この取扱説明書の絵表示と意味は次のとおりです。

- 警告** 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険性があることを示しています。
- 注意** 取り扱いを誤った場合、軽傷を負う場合、ゴーグル破損の危険性があることを示しています。
- 禁止行為** 禁止行為を示しています。
- 守っていただくべき義務行為** を示しています。

安全にご使用いただくために

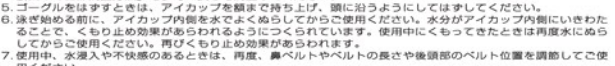
- 警告**
 - このゴーグルはスイミング専用ゴーグルです。スイミング以外に使用しないでください。潜水用としての使用は危険です。よくお読みください。目の周りが強く圧迫され、目損傷をおそれがあります。
 - ゴーグルを付けた状態、アイカップを顔の前後へ必要以上に引っ張らないでください。ベルトの伸縮でアイカップの顔や目に当たり、ケガをするおそれがあります。
 - コネクタレンズの装着中のゴーグルのご使用は、おやめください。紛失やケガに繋がるおそれがあります。

- 注意**
 - アイカップと境界のさまざまなよきな裏しキズがついたゴーグルは使用しないでください。周りが見にくくなり、ケガの原因となることがあります。
 - ゴーグル(アイカップ)の内側内指等が熱いように注意してください。くもり止め効果低下の原因になります。
 - 水分を吸収したアイカップの内指(くもり止め効果)は、柔らかくなっていますので、指や爪などで絶対にふれないでください。アイカップの内側(図①の斜線部分)にふれすぎるとくもり止め加工にキズがついたり、くもり止め効果が低下します。

- ゴーグルを長時間ご使用しないこと**、くもりに前に装着がわかれる場合があります。万が一発赤・かぶれ・かゆみ等の症状があらわれた場合は、ただちに使用を中止し、専門医にご相談ください。
- ゴーグルを洗剤を用いた中性洗剤で洗浄した後は、十分すすぎ洗いをしてください。洗剤・洗剤が残っていると、アイカップが劣化し、破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 着用時に気分が悪くなった場合は直ちに使用を中止してください。

使用方法

- 使用前に必ずベルト、鼻ベルト、アイカップ、クッション、鼻架、目当てを取り付けられているか、キズや汚れなどの異常がないかご確認ください。
- ゴーグルの着用は、ベルトを両手で広げ、後頭部からしっかりとかけてください。このとき、アイカップは顔に乗った状態になります。(図A)
- 次に左右のアイカップを両手で持ちながらすくように目にかぶせるようにしてください。(図B)
- ベルトが伸びていないかチヤッとし、右図のように後頭部のベルト調整の方向に調整してください。
- 顔にシタリ合っているか確認してください。合っていないときやフィット感がわるいときは、一旦ゴーグルをはずしてから後頭部の(右側調整方法)を参考に長さ調整してください。
- ゴーグルはすくとき、アイカップを顔で持ち上げるとき、顔にぶら下がるようにしてはけません。
- 泳ぎ始める前に、アイカップ内側を必ずよくぬぐってご使用ください。水分がアイカップ内側にいきわたることで、くもり止め効果があられるようにつるります。使用中にもってきるときは再度水にぬらしてくもり止め効果をおとさないでください。再びくもり止め効果をおとさないでください。
- 使用中、水泳入や不快感のあるときは、再度、鼻ベルトやベルトの長さや後頭部のベルト位置を確認してください。



アイカップ内側の取り扱い - くもり止め加工について

- アイカップの内面にキズが入ったり、汚れが付着するとくもり止め効果も低下します。くもり止め効果を持続させるために、以下の点に注意し、お取り扱いください。
- 水分がアイカップ内側にいきわたること、くもり止め効果があられます。ご使用する直前に必ずシャワーやベルトの水でアイカップ内側をよくぬぐってください。
- くもり止め効果がある状態では、アイカップ内側は少しヌルい感じがし、やわらかくならず、指や爪で触ったり、タオルで拭いたりするとくもり止め加工に傷が入ったり、剥がれてしまったりする場合があります。アイカップ内側をぬぐうときにはご注意ください。
- アイカップが熱くなったときは、アイカップ内側を指でぬぐってくもりをとり、もう一度水にぬらしてくもりを取り除いてください。指の指先やアイカップ内側に指先がつかず入り、くもり止めの効果も低下させ、乾くとアイカップの内側に内指の擦れや防曇膜がはがれ白濁したように見えます。

アイカップへの水泳入について

- 鼻ベルトやベルトの調整不足やご使用中のベルトの位置によって、クッションまたはアイカップと顔との間にすき縫が発生して水が入ることがあります。水泳入を防ぐために、以下の点に注意し、お取り扱いください。
- ご使用前に顔にフィットするよう鼻ベルト、ベルトの長さ調整をしてください。
- 上記の調整をしてもらった後が入る場合は、ベルトの位置がずれていることがあります。この状態では、アイカップの内指が顔に当たってクッションと顔との間に隙間が発生し、水が入りやすくなります。上記の「正しいベルトのかけ方」を参考にしてください。

お手入れについて

- ご使用後は必ず水道水ですすぎ洗いをしてください。洗った後、アイカップにいた水分をよくきり、陰干しをしてください。(水分がたまると、バグや菌などにご注意ください。カビが発生するおそれがあります。)
- アイカップの内面に汚れや油分などが付着すると、くもりの原因になります。時々、洗剤を用いた中性洗剤を泡立てた状態で水道水ですすぎ洗いをしてください。指や爪で擦ったり水で洗ったりしないでください。
- 海で使用された後、アイカップに塩が付いたときは、指先やタオルなどで取り除き、水ですすぎ洗いをしてください。
- ゴーグルが損傷しますので、シンナーやアルコール等の有機溶剤で洗わないでください。
- 色が移ることはありませんので、スイムウェアやスウェット、タオル等と長時間接触し合わないでください。

保管について

- 火に近づけたり、高温になる所(サウナや夏場の車中)に長時間放置しないでください。変形することがあります。
- 保管中またはレンズ面に直接ものが触れないようにご注意ください。(例えば、折ったたんだベルト、履き足)

- クッションタイプのゴーグルをご購入の方はお読みください。**
- 長時間の使用や使用直後と開封された機械技術用材料による、長時間の使用で痛みを感じた場合は、クッションタイプのゴーグルをお替えます。

■サイドパーツ スタビライザーつきゴーグルをご購入の方はお読みください。

- スタビライザー取り換えのご注意** サイド(フック MIZUNO Stabilizer (スタビライザー))スタビライザーは、ベルトでは調節できない安定感を目的に開発された専用パーツです。使用・保管に際しては下記の注意事項をご理解の上でご使用ください。
- スタビライザーとクッション、鼻架等がある場合は、切れおそれがありますのでご使用前必ず確認してください。
- ゴーグルを装着したままアイカップだけを外すとスタビライザーが一方方向に伸びられます。その状態で再装着した場合は、調整が狂います。
- スタビライザーに差し込まれたベルトが、なびたりして、1ヶ所に偏って使用された場合ベルト通し部分に変形する場合があります。
- スタビライザーを強く引っ張ると変形し伸びたまま元に戻らなくなりフィット感を損ないます。使用以外での過度な力を加えないでください。
- 鼻架の両側は、必ずスタビライザーを強く折り曲げたりひっぱった状態にならないようご注意ください。変形や破損の原因となります。

■アイカップ、クッション一体成形タイプのゴーグルをご購入の方はお読みください。

- アイカップとクッションを無理な力で引っ張らないでください。アイカップが割れるおそれがあります。一度割れたクッションは修理することができません。

■ミラータイプのゴーグルをご購入の方はお読みください。

■ミラーゴーグル取り扱いのご注意

- ミラーコーティングは傷つきやすく、割れるおそれがあります。ミラーコーティングを長持ちさせるために、特に以下の点に注意し、お取り扱いください。
- ミラー面に汚りが付着した場合は、水道水ですすぎ洗いをしてください。布等で擦って拭き取ると微細な傷が発生し、そこからミラー面の密着性が低下し割れることがあります。
- 水(湯水、プールの水、海水、温泉水等)に長時間つけ置きするとミラー面の密着性が低下し割れることがあります。
- 使用後は水分をよくきり、陰干しをして乾かしてください。
- ケガや夏場の車中、高温になる所に長時間放置しないでください。
- シンナーやアルコール、くもり止め等の有機溶剤をミラー面に塗ったり、付着した状態で放置しないでください。
- アルコールの消毒(洗剤など)が付着しないようにしてください。ミラー面が割れることがあります。
- シリコンキックペグ(両面接着)が付着しないようにしてください。ミラー面がシリコンキックペグにつくことがあります。

■各部調整方法

お買上げいただいたゴーグルの形状を確認し、下記のイラストを参考に各部調整をおこなってください。

■ベルトの長さ調整方法

- 1. ベルトを1本すくはす
- 2. ベルトの長さをおさめる
- 3. ベルトを1本すくはめる

- 1. ベルトを1本すくはす
- 2. ベルトの長さをおさめる
- 3. ベルトを1本すくはめる

- 1. ベルトを1本すくはす
- 2. ベルトの長さをおさめる
- 3. ベルトを1本すくはめる

- 1. ベルトを1本すくはす
- 2. ベルトの長さをおさめる
- 3. ベルトを1本すくはめる

■鼻ベルトの長さ調整方法

- サイズ別のパーツを調整するバーツを図Aのような場合は、はさみで切り取ってご使用ください。パーツに切れ目があるしつかりとアイカップに付かないことや顔に当たりケガをするおそれがあります。

■サイズ交換式(下ヒンタイプ)・S,M,L/X,S,M,L,O (購入時はMサイズ取り付け)

- はさみ方 図Aのように鼻ベルトを矢印の方向に切り取る
- 組み立て方 鼻ベルトをカチと音がかかると組み立て完了です。

■サイズ交換式(上ヒンタイプ)・S,M,L/S,M,L,X (購入時はMサイズ取り付け)

- 鼻ベルトをつきはすはすはす
- 組み立て方 図Bのように鼻ベルトを矢印の方向に引っ掛ける
- 鼻ベルトをカチと音がかかると組み立て完了です。

■サイズ交換式(飛込タイプ)・S,M,L/S,M,L,X/S,S,M,L,XL (購入時はMサイズ取り付け)

- はさみ方 図Cのように本体を手でささえながら鼻ベルトを矢印の方向へ引っ掛ける
- 組み立て方 鼻ベルトを矢印の方向へ引っ掛けると鼻ベルトはしっかりと押し込みます。

■3段階調整式 (購入時は一指ひねり取り付け)

- くもり調整時 図Dのように、鼻ベルトを右にひねりながら、鼻ベルトの内指、レンズの両側の左右のきき(鼻架の両指)に落とすひねりをつけてください。
- くもり調整時 図Eのように鼻ベルトを少しづつ調整してください。

■クッションの取り付け方

- ベルト取り付け時(矢印の方向)より鼻架、アイカップの内指、アイカップの外指、クッションがズレたり、おさまるように取り付けしてください。